



軽費 / 特養 / 高齢者在宅サービスセンター / 高齢者集合住宅 / ケアハウス / グループホーム

No. 273号

2007(平成19年)5月

〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15  
発行人：橋本正明  
ホームページ：http://www.shisei.or.jp/

TEL 042-527-0031(代) FAX. 527-2646  
編集：広報委員会  
Eメール：shisei-home@shisei.or.jp

Shisei Senior Service Center

## 至誠ホーム マーガレットクラブの33年

至誠ホーム囁託  
東海大学講師

橋本 ライヤ  
(原文のまま)

この春、至誠ホームのお庭に一本の新しい桜の木が植えられました。そしてその八重桜の木は4月にきれいなお花を咲かせたのです。木にかけられたプレートには「贈呈・マーガレットクラブ 1974・11・2007・3」記されています。これは33年間のこのクラブの命をあらわすものです。マーガレットクラブは33年目の今年も3月いっぱいまで終了しました。

そもそもマーガレットクラブは何だったのでしょうか。なぜこのクラブはホームに出来たのでしょうか。最初から関わっている私からすこし思い出話をしましょう。

私が昭和60年(1985年)マーガレットクラブ十周年記念号に書いた記事を参考にしましょう。

「・・・昭和49年のことをまだ昨日のよう覚えています。日本に来たばかりの、日本語がほとんど解らない私に、老人クラブ・至誠会から「日本のことや日本人を知るために何かクラブ活動でもやらないか。」という話があったのです。ちょうどその時、私の父は故郷のフィンランド・ラウカー市、医療福祉委員会の委員長でした。そし

てラウカー市にあるマンニッコ老人ホームに関係していました。私も日本に来る前にその老人ホームを訪問して日本とフィンランドのお年寄り達が交流できたらいいなと話してきました。老人クラブの話と私のアイデアを一緒にして、このマーガレットクラブが出来たのです・・・」

クラブの名前はマンニッコホームがある私の故郷・中部フィンランドの代表的なお花からとりました。太陽のような、たくさん喜びを運んでくれるようなお花です。

古いメモを見ると、マーガレットクラブの最初の集まりは昭和49年(1974年)11月11日でした。「・・・集まった方は職員と老人クラブの方合わせて全部で30人。マンニッコホームに贈るプレゼントを決めた。お手紙とホームの手作り作品・・・」など書いてあります。その年の暮れに向けて週2回ほどあつまりがありました。マンニッコホームのお年寄りへの手紙書きはすぐにルールに乗ったようで、またメモによると、返事も次々と来るかフィンランドから来ていました。返事が来るたびに集まりがありました。今考えられないようなとて

も忙しいクラブ活動でした。フィンランドのお年寄りとの文通などの交流以外に、至誠学園の子供達との交流、また病院に入院しているホームのお年寄りのお見舞いなどをするようになりました。また至誠ホームのクリスマス会や毎月行われた誕生会で外国の歌などを発表しました。

クラブが発足して2ヶ月あまり、1975年1月17日の読売新聞でマーガレットクラブのことは大きく紹介されました。「立川ーフィンランド 海を越えて文通」「世界の中グリーンと広く お陰で若返りしました！」などとお年寄りのインタビューが記事になったのです。さらにメンバーの熱心さを「ラブレター並にソワソワお手紙を待っている」と表現されていました。

もちろん私たちマーガレットクラブが書



1997年5月 江戸東京ミュージアムに出発！ 勉強だ！



1974年12月 誕生会  
サンタさんがやってきた!

いていた手紙はラブレターではありませんでしたがそれぞれのメンバーが相手のホームに決まったペンフレンドがいまいた。ある種の「ボーイフレンド・ガールフレンド」だったかもしれない手紙が届く時、大きな喜びがあった、と私は今も良く覚えています。

今は「国際化」とか「国際関係」はとても頻繁に使われるようなことばになっています。33年前のマーガレットクラブ発足当時、お年寄りによるこのような国際交流は本当に珍しいものでした。すぐ新聞に載ったことはそれを語っています。

当時のホームのお年寄りに私はおくればせながらお礼を言いたいです。とてもパイオニア的な、ホーム全体の将来に大きな影響を与えた活動を始めたのですか

ら。もちろんその後参加して下さった方にも感謝します。

フィンランドのマンニッコホームのお年寄りとの文通から始まったマーガレットクラブの活動は年々広がりました。例年は月1回でしたが、ホームの職員の手助けもあって、昭和61年(1986年)からブラジル・サンパウロにある日系人の老人ホーム・憩の園の在園者も交流の輪に入りました。文通以外に、1994年よりマーガレット募金を通して、経済的に苦しい立場にあったそのホームのお年寄りの生活を支援することになりました。海を越えての温かい心遣いができたことはマーガレットクラブにとつて幸せなことでした。この募金活動は昨年末まで続いたのです。

文通、募金活動、年1回のバスハイイク、勉強会などのような年間スケジュールに徐々にマンネリ化してきたマーガレットクラブの活動でした。でも勉強会ではフィンランドやブラジルのことを学びました。関係者の講演や映画などを通して世界のことを勉強しました。これは、最初から「至誠ホームの外に目を向けましよう」というマーガレットクラブのスローガンから生まれたものです。ある意味で、マーガレットクラブは至誠ホームの外務省の役割を果たしたかもしれない。

マーガレットクラブの33年のあいだ、至誠ホーム自体も国際的になりました。同じくフィンランドのパキラホームとの姉妹施設提携、職員交換研修などが生まれたのです。この交流にもマーガレットクラブは手助けをしました。パキラのお年寄りとも文通を始めたのです。

至誠ホームの活動が国際的になり、活動がどんどん広がっていく時にマーガレットクラブは終了になりました。なぜかと驚いた方も少なくないと思います。私が思うのは、マーガレットクラブはもう役割を果たしました、と。このクラブの第一ステージがもう終わりました、と。私たちの小さな輪でこれ以上できないとおもいます。マーガレットの名前を残して、「世界が広いな」という精神で、形を

変えた活動をしたい、そしてより多くの至誠ホームの皆さんのためになる勉強の場、マーガレットのお花が溢れるような広場になれたらいいなと考えている私です。

最後にマーガレットクラブの歌をご紹介します。

「マーガレットクラブの歌」

作詞・橋本ライヤ  
作曲・フィンランド民謡より

- 1 友達になろうよ。なろうよ。なろうよ。
- 2 友達になろうよ。なろうよ。
- 3 友達がいいですね。いいですね。
- 4 友達がいいですね。いいですね。
- 5 手を結びましよう。みんな。
- 6 明るい毎日。毎日。

冠省

私共在日協力会も、お陰様で昨年は設立10周年を越え、これからも落ち着いた支援活動を続けて参れますような続きの段階に移りました。それにつけても、この10年という長い年月、至誠ホームから頂いたご支援を思い、感謝の気持ちで一杯でございます。

1986年から始まったマーガレット・クラブと憩の園の在園者との文通。1994年からご支援の始まったマーガレット募金。1996年、在日協の設立からずっとお手伝い下さったライヤ先生の関わり。現地職員(JICA) 研修へのお力添え。老人福祉関連の専門書籍のご寄贈。

有形無形の数々のご支援を頂きました。福祉に関するイベントや、会議や、集まりなどの席では、日本の至誠ホームでは、と言う形で至誠ホームの存在を現地の参加者へお伝えしました。至誠ホームは、救済会「憩の園」の誇りとして関係者達を支えてくださいました。今後ともよろしくご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

この度、今年3月を以てマーガレット・クラブが解散なさること、同じくマーガレット募金も終了なされることを、担当の佐藤美智子さんより伺いました。本当に長い年月に亘って大きなご支援を賜りまして有難うございました。心からお礼申し上げます。 かしこ

平成19年3月12日

ブラジルサンパウロ日系人の  
老人ホーム  
「憩の園」在日協力会  
(渋谷まさみ様より)

# より良いサービスを目指して

## サービス向上への取組み

至誠ホームでは、各フロアやセクション等の小規模な業務単位での、職員によるサービス向上への自発的な取組みを支援してきました。今年度は平成19年2月にホーム内で3回の地区大会を行い、至誠ホーム全体で12のサークルが利用者へのサービス向上や業務の改善などを目指し、工夫をこらし意欲のこもったプレゼンテーションを行いました。それぞれのサークルを施設長等が採点し、地区大会毎に優秀なサークルを1サークル選び、合計3サークルがサービス向上大会での発表にすすみました。

## サービス向上大会

サービス向上大会は今年度で12回目となり、立川駅北口にある立川市女性総合センター1階のアイムホールにて平成19年3月13日(火)午後7時より行いました。平日の夜にも関わらず、ボランティア、家族、地域の福祉関係の方々にもサービス向上への取組みを紹介させていた

## サービス向上委員会

委員長 河合晴夫

## サービス向上大会の内容

- 1、「至誠ホームの新たな挑戦」のテーマで橋本正明至誠ホーム長より、『第二次中期計画ステップ2015』に基づく(仮称)至誠ホームなみき事業について講演を行いました。平成19~20年度の2カ年計画で、地域密着型事業を国分寺市内にて展開する計画をしています。
- 2、平成18年度デイサービス利用実感調査報告を立教大学の橋本ゼミの学生が行いました。デイサービス利用者へのアンケートと共にインタビュー調査も行い、地域におけるデイサービスの果たす役割の重要性を再確認することのできる発表でした。
- 3、サービス向上・優秀サークルの発表では、地区大会で優秀な成績を修めた3サークルが、サービスの向上に向けて取組んだ内容を魅力ある内容でプレゼンテーションしました。
- 4、サービス向上・最優秀サークルの選出を、ホーム長・ブロック長と共に会場にお越しの皆様により採点し

ていただきました。厳正な審査の結果、錦ブロック5階生活介護のS COMPANYの「その人らしさを求めたくて…」が最優秀賞を獲得しました。

サービス向上に向けての取組みを地域の皆様に御覧いただき、さらなるご指導とご支援を

得られるよう、職員一同さらに努力をして参りたいと意を新たにさせていただきます。



## 第12回 サービス向上大会3サークル紹介

### 目指せ! ホームのコンシェルジュ 統括事務局がさんもちぞた

統括事務局の職員全員に共通する業務として受付や代表電話への対応があります。受付といえばホームの顔。訪れる方や電話への対応は先方とのその後の関係やホームのイメージに直結します。どのようなご用件の方に対しても、ちよつと立ち寄った(電話した)だけという方にも、来てみて或いは電話して無駄だった...と思わせない誠意ある対応を目指し、正面玄関から受付カウンター及び待機スペースの改善、問合せへの的確・迅速な対応、土日祝日の窓口対応等の改善に取り組みました。

この取り組みにより局内で課題を整理し意識化することができましたが、対応の標準化や他部署との連携について今後も継続課題として検討を重ね、柔軟性・弾力性のある事務局を目指して日々努力していきたいと思えます。

### その人らしさを求めたくて... 至誠特養5階

5階で過ごされている利用者の皆様お一人お一人の存在感を尊重した『安らげる空間づくり』は、私たちにとって永遠のテーマです。

今回の取り組みは、その中か



ら環境整備と社会性維持を重視したものに焦点をあて、フロア全体を活用した小規模な居住空間づくりとグループダイナミクスを生かした逆デイサービスを行いました。

まだまだ駆け出しの段階ではありませんが、今後もより一層、利用者の皆様が住みやすい空間を目指し、取り組みを発展させていきたいと思えます。

## うるおいの空間づくり キートスホーム2階

キートスホーム2階介護では、昨年度、「うるおいの空間づくり」と題して、主に外回りの環境整備の取り組みを行ってきた。景観に配慮した物干し場づくり、ベンチ・テーブルを作成してくつろぎの

空間づくり、花壇の再利用等である。活動はフロア職員全体で取り組んだが、地区予選、本大会での発表は山住、小町、小西の3人で行った。キートスブロックの代表としてサービス向上大会本大会に出場したが、地区予選以後、取り組みに大きな変化が無かったため、本大会でもほぼ地区予選と同じ内容での発表となった。季節が冬場ということ、寒い為外に出る利用者が少ないということもあり、取り組みをいかした活動が不十分であった。暖かくなってきた今こそ、新たな活動を考える時期ではないかと思われる。本大会の結果は2位ということであったが、この結果に満足せず、今後も新たなサービスの提供について取り組んでいきたいと考えている。

## 平成18年度 デイサービス利用実感調査報告

利用者相談委員会では、平成12年度から施設利用者や在宅サービス利用者に調査を実施し、サービスの向上に役立てて参りました。平成18年度はデイサービスの3事業所を対象に調査を実施いたしました。

デイサービスを利用することにより、どのように生活が支えられているかを明らかにするとともに、デイサービスに対

する満足度、評価を伺うことを目的として、立教大学橋本ゼミの皆さんの協力を得て、アンケート調査・インタビュ調査を実施しました。

アンケート調査は、至誠デイケアセンター、至誠キートスデイサービスセンター、柏地域福祉サービスセンターの3事業所の利用者を対象に行いました。アンケート配布<sup>335</sup>、有効回収数<sup>273</sup>名で、回収

率<sup>81・5%</sup>と大変高い回収率となりました。

また、柏地域福祉サービスセンターの利用者57名の方にはアンケート調査の他に1対1のインタビュ調査にご協力いただきました。

### 【アンケート調査結果より】

ほとんどの方がデイサービスに通うことが楽しいと回答し、半数以上の方が一緒にデイサービスを利用している方と友達になったと回答しています。職員に対しても、9割以上の方が対応に満足していると回答しています。デイサービスが生活の一部となり、生きがいにもなっていると考えられます。また、デイサービスそのものが外出の大切な機会となっており、入浴について回答していることがうかがえます。入浴については、介護度の高い方でも半数近くの方が自宅でも入浴すると回答していることから、入浴に対してのニーズが高いことが分かります。食事に関しては、デイサービスでの昼食の内容に個々のニーズはあるものの、8割の方が満足していると回答しています。

アンケート全体としては、デイサービスに対して満足しているという結果が得られました。職員に対しても送迎や入浴・食事についても個々のニーズがあり、例えば「帰りの時間がもう少し遅いとよい」「休日も利用したい」「待ち時間が長

い」などといったご意見もありました。利用者一人一人のニーズに添えていけるきめ細かいサービスが求められ、出来る限りそれに添えていくことが課題だと思っております。

### 【インタビュ調査結果より】

インタビュの中から、ほとんどの方が加齢に伴う身体の変化や健康に不安を持たれていることがわかります。アンケート結果同様に外出がなかなかできず、デイサービスが外出の機会となっている様子も伺えます。活動内容については、陶芸や歌の人氣が高く、各自お気に入りの活動を見つけている人が多いものの、自分に合った活動がないという方もいらっしゃいます。男性利用者からは利用者も職員も女性が多いことが気になるという意見もありました。

また、職員やボランティアとの関係は概ね良好のようですが、「同じ人の方が安心」「いやな職員もいる」といった不満をお持ちの方もいらっしゃいました。今後も、少しでも安心してご利用いただけるよう努力していきたいと思っております。

ご協力頂きました皆様へ感謝申し上げますと共に、これを活かしよりよいサービスを目指していきたいと思っております。

L18-04	L18-03	L18-02	L18-01	受付番号
2006.5	2006.5	2006.5	2006.5	日付
施設利用者家族	施設利用者家族	ショート利用者	-	申立人
お風呂から戻った肌着が前後逆になっていた。気をつけてほしい。着るものを反対にするのは縁起が悪く、一般常識としてやってはいけないのだが、若い人には無理なのかもしれない。	夕食の時に、いくら待ってもご飯が配膳されず、こちらがいうまでこなかった。一つ一つあーだこーだと言っても思いがまんしていたが、お金を払っているのだからだまっていられない。	ジンギスカンなどを食べてみたい。北海道のジャガイモや立川のウドなど季節のもの食したい。	面会用のスリッパが消毒されないままでは不衛生なのではと思うのですが…。お金がかかるかもしれませんが、光での消毒やアルコールによる消毒などした方がよいのではないかと思います。	苦情・要望・意見内容要旨
不愉快な思いをさせてしまい、申し訳ありませんでした。衣類を反対に着けることは、おっしゃるとおり縁起の良いたくはないこととして忌み嫌うことであることを承知しています。こういったことの教育や啓蒙は意識的に行っていくように検討いたします。	配膳が遅れたこと、配膳されていないことに気づかなかったことでご本人やご家族に不愉快な思いをさせてしまい、誠に申し訳ありませんでした。気持ちよく生活していただけるよう、十分留意いたします。	食事や料理についての特別なご希望には、「特別な食事の費用」として別途料金がかかりますが、出来るだけ対応させていただきますので、詳しくは職員へお尋ねください。	貴重なご意見、ありがとうございます。早速至誠ホームとして安全衛生委員会に諮り検討した結果、使用頻度に応じて週1回〜月1回、定期的に拭くこととなりました。現在継続実施中です。	対応等



平成18年度

至誠ホームにいただいたご意見・ご要望等

平成18年度、お手紙コーナーへは計14通のお手紙を頂きました。苦情が5件、要望が8件、お礼が1件でした。回答は全て、至誠ホーム内に掲示する形でさせていただきまし。今回は、そのうちの4件をご紹介します。

至誠ホームのサービスに関するご意見・ご要望・苦情の窓口  
 〒一九〇一〇〇三二  
 立川市錦町6-28-15  
 至誠ホーム「利用者相談委員会」  
 専用電話 042(527)0374  
 FAX 042(527)2646

認知症で介護3のSさんが娘さんの押す車椅子に座り、青梅の昭和レトロ館で、「きいちの絵」を見て、とても嬉しそうに微笑んでいる。  
 スオミグループホームで実現した家族との一泊旅行の思い出のスナップ写真である。

今年に入ってからSさんは体調が思わしくなく、職員がいつも傍らで話しかけていないと落ち着かなくなつた。娘さんは、「これからは旅行もまま成らない。できれば、母と一緒に旅行をしたい。でも、1人ではちよつと無理だし」と躊躇していた。そんな声があるなか、居住者のIさんが、「昔行った青梅の梅見に行きたい。今頃は

暮らしのボックス



で梅見の後、酒造澤乃井で清流を眺めつつお茶というコースである。日頃は、朝食、ラジオ体操、趣味活動、夕食の献立決め、昼食、買い物、自由な活動、夕食作り、夕食と規則正しい生活の繰り返し。このため、旅行は自由な雰囲気、好きなことをしてもらおうという計画になった。

昔、お琴の先生だったMさんは、何よりも温泉が楽しみ。旅館に着いた途端に、お風呂。「広い、大きいね」と言いつつ、のぼせるほど湯船を楽しんでいた。夕食にはお酒も出て、舌鼓み。Sさんと娘さんは、ゆっくり静かにかみしめるように、食事の時間を楽しまれた。翌朝は梅の花の下で記念撮影。

見ごろだろう」と懐かしそうに話していた。そこで、職員が「皆と一緒に行く」という提案で、「観梅一泊旅行」が実現した。

一度に全員は無理なので、グループに分けて、第一陣は4人の居住者に家族2人、職員2人の計8人。  
 立川駅から電車で青梅に行き、初日に「昭和レトロ館」を見学し、宿泊は青梅簡保の宿で宿泊。翌日は吉野梅郷

Iさんは、文金高島田に着物姿の女性の月桂冠のポスターの前で、「この美人と写真を撮る」といって、記念撮影。それぞれが新鮮さと懐かしさを堪能した旅だった。今月は第二陣のグループが歌のボランティアさんと共に一泊旅行に出かける。きつと、楽しい土産話が聞けるに違いない。

(至誠ホームスオミアクティビティ・プロデューサー 佐藤典子)

# 至誠キートスホーム ボランティア講座

**参加申込み受付中!**

キートスホーム恒例のボランティア講座を開催します。

あなたのライフデザインを描いてみませんか。

あなたの大切な時間を、さらに輝かせましょう。

ボランティア活動できっと見つかるはず! 講座はその一歩!

\*会 場：至誠キートスホーム

(立川市幸町4-14-1)

\*参加費：無 料

\*申込み・問合せ：

至誠キートスホーム

(担当：西原恵子)

TEL 042-538-2323

FAX 042-538-2324

	実施日時	内 容	定員
第1回	6月7日(木) 13:30~15:30	講演：ライフデザインとボランティア 講師：至誠キートスホーム 園長 大村洋永	30名
第2回	6月14日(木) 13:30~15:30	介護実技講習 車椅子の操作・食事介助の方法	20名
第3回	6月21日(木) 13:30~15:30	活動中のボランティアさんのお話	20名
第4回	6月28日(木) 13:30~15:30	各フロアでボランティア体験	20名

※第4回については日時調整の相談に応じます。

## 「新予防給付」開始1年が過ぎて

何度かこの『ホームだより』でもご紹介させていただいておりますが、昨年度より、高齢者の介護予防が制度上、明確に位置づけがなされています。制度の枠組みとしては、介護保険で要支援の認定を受けた方への「予防給付」と認定を受けていない方への介護予防事業があります。改正介護保険法が施行されて1年余りが経過したところで、その中の介護保険の「予防給付」(要支援1・2に認定された方に対するサービス)の現状をまとめておきたいと思えます。

心身の健康の維持・向上を主眼とした介護予防の仕組みですが、この1年で制度のいくつかの課題も見えてきました。

利用者の声を聞きますと、これまで要介護認定を受けていて、その後の更新で要支援1・2の認定となり、新たに予防給付の対象となった方については、マイナスの評価が多かった印象です。受けられるサービスの回数や種別、内容の制約などにより、今までどおりにサービスが受けられなくなったというのが主因です。

また、「予防給付」と「介護給付」の違いにより起こり得ることとして、認定更

## 地域包括支援センターコーナー

立川市北部中さいわい地域包括支援センター042(538)2339  
立川市にしき福祉相談センター042(527)0321

新の度に要支援と要介護の間を行き来した場合、その都度サービス内容やプランの担当者が変わる場合があり、混乱が生じることがあるという点なども大きな問題点として挙げられます。

もちろん、そのような問題点を含みながらも、予防支援・予防給付により心身機能の維持・向上がなされたことと評価できる方々もいらっしゃいます。さらに、継続的な介護予防支援により、長期的にはその成果が今以上に現れてくることは十分期待できることであると思われま

す。また、予防プラン作成のために現行ケアプランを見直す中で、現状のプランが過剰な介護でかえって利用者の自立心を損なっていないか見直すことができたケアマネジャーもいたようです。

さらに、要介護度1以上の「介護給付」対象の方についても、現在の心身機能の維持・向上を図る視点を踏まえた支援の必要性を再認識する機会となったといえるでしょう。

今後は、関係機関(地域包括支援センター、ケアマネジャー、サービス提供事業所など)の介護予防に関するスキルをさらに向上していくことが求められていくと思われま



# 後援会コーナー

## 後援会費納入者ご芳名

誠に有難うございました。厚くお礼申し上げます。  
(平成19年2月1日~平成19年3月31日 敬称略 順不同)

- 鈴木有子 岩崎元郎 山川和代
- 野沢秀友 小川定時 小川昌子
- 橋本富美子 桜井悦子 佐藤泰道
- 鈴木栄治郎 渡辺晃堂 小倉洋子
- 岩木信幸 春山順子 井上富士子
- 橋本正明 小倉洋子 山下記代子
- 岡田 清 高倉洋子 佐藤美智子
- 竹村和子 茂手木和子 以上23名

## ご寄付に感謝

至誠ホーム長 橋本正明

根川堤の桜が例年にも増して豪華に咲き誇った本年です。寒暖の差が厳しいと花の勢いにも大きく影響を持つのでしょうか。

後援会様から本年も多額のご寄付を頂戴しましたこと心から感謝申し上げます。高額のご寄付というだけでなく、このご寄付には多くの市民の方々からのホームを支えるお気持ちが進められていることに身の引き締まる思いでございます。

昨18年度は介護保険の改正に伴い至誠ホームの運営にも大きな影響がございました。しかし市民の皆様から支えられている至誠ホームとして、そのご期待に応える事を大きな目標として一年間を無事乗り越えられましたことご

報告申し上げます。

本19年度からは平成21年度を目標にした新たな事業の展開に向けて大きく努力を傾けてまいります。今後とも至誠ホームの高齢者事業の発展をご支援いただきたくお礼のご挨拶といたします。

後援会理事 深沢よしこ

新緑の美しい頃となりました。至誠ホームのけやき広場には、色どりの花が咲き乱れており、そしてその上空には風をのんだ鯉のぼりが元氣よく泳ぎまわっております。ホームのお年寄りやボランティアの方々的心を和ませております。

後援会の皆様には益々のご健康をお祈り申し上げます。そして変わらぬ御厚情をよろしくお願い申し上げます。

## 後援会加入のお願い

一人ひとり誰でもが安心した高齢期の生活が迎えられるように、皆様方の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

お申し込みは左記事務局へ

至誠ホーム事務局

立川市錦町6-28-15  
電話 042-527-0031

至誠キートスホーム事務局

立川市幸町4-14-1  
電話 042-538-2323  
会費 2000円以上  
会長 梅田尚裕

## ボランティア受入 / 福祉学習協力 状況

種類	期間	平成18年度	平成18年度
		2月~3月	累計
一般ボラ		1,710人	10,497人
ボランティア体験		34人	287人
実習・研修		290日	1,381日
体験学習		0人	572人
見学・視察		56人	336人

## ボランティア活動状況 活動内容別

活動内容	期間	平成18年度	平成18年度
		2月~3月	累計
生活支援		477	2,501
健康づくり		219	1,503
生き甲斐支援		658	3,872
地域支援		248	1,553
行事		73	895
調理		0	0
事務等		35	173
ボランティア体験		34	287
合計		1,744	10,784

## ボランティア活動状況 地区別

地区別	期間	平成18年度	平成18年度
		2月~3月	累計
錦地区		1,039 <14>	6,370 <151>
幸・柏地区		705 <20>	4,414 <136>
合計		1,744 <34>	10,784 <287>

<> はV体験で内数

## 至誠ホーム利用者状況

(平成19年2月1日~19年3月31日) ( ):実人数

事業内容		2月	3月	累計	
<b>至誠ホーム統括事業本部</b>					
自主事業	ふれあい夕ごはん事業	574 ( 0)	597 ( 0)	7,019	
	ホームケア食事サービス	0 ( 0)	0 ( 0)	39	
<b>至誠ホーム錦ブロック</b>					
委託事業	機能訓練事業 (特養)	2 ( 1)	3 ( 1)	38	
	自立者短期入所事業 (軽費)	0 ( )	0 ( )	43	
介護保険	短期入所生活介護 (特養)	501 (54)	530 (57)	6,655	
	保養ステイ事業 (軽費)	39 ( 2)	19 ( 3)	478	
<b>至誠ホームスオミブロック</b>					
委託事業	生甲斐活動支援通所事業 (至誠デイケアセンター)	8 ( 1)	9 ( 1)	91	
	通所介護 (至誠デイケアセンター)	705 (25)	768 (25)	9,094	
	通所介護 (もとまち)	346 ( 5)	388 ( 6)	3,118	
	訪問介護 (至誠ホームヘルプ)	1,045 (69)	1,166 (67)	13,859	
	訪問介護 (コミホームヘルプ)	519 (37)	547 (38)	6,358	
	居宅介護支援事業 (至誠)	132	132	1,664	
	居宅介護支援事業 (コミホーム)	休止	休止	225	
	居宅介護支援事業 (もとまち)	40	43	337	
<b>至誠ホームキートスブロック</b>					
介護保険	短期入所生活介護 (キートス特養)	663 (88)	662 (86)	7,714	
	通所介護 (キートスデイサービスセンター)	884 (36)	999 (34)	11,261	
	訪問介護 (キートスホームヘルプ)	1082.5 (38)	1174.5 (37)	13,297.0	
	居宅介護支援事業 (キートス)	166	168	2,144	
委託事業	自立者短期入所事業 (キートス)	0 ( 0)	0 ( 0)	42	
	介護保険	通所介護 (柏)	690 (29)	763 (30)	8,234
		居宅介護支援事業 (柏)	69	66	866

※入居施設定員 至誠特別養護老人ホーム 150名 至誠ホームキートス 70名  
至誠和光ホーム 50名 至誠ホームスオミ・ケアハウス 50名  
至誠ホームスオミ・グループホーム 9名

※高齢者集合住宅 シルバーピアしせい 15戸

ホーム日誌

平成19年2月1日～平成19年3月31日

- 2月 節分豆まき／立川七中キートス職場体験
7水 和光食べ歩き外出
14水 あんこうの吊るし切り実演(食工房707)
15木 和光会役員選挙
16金 介護予防教室「男性料理教室」キートス
18日 錦町芸能文化祭(フラダンスクラブ出演)
21火 居酒屋(錦地区)
25日 スオミミュージックステージ「楽しく懐かしくタンゴ」バンドネオンの響き
28水 至誠保育園との交流会(和光)／スオミグループホーム青梅1泊旅行
3土 家族会幹事会(錦特養/和光)
5月 19年度採用職員研修開講式
6火 コミホーム運営委員会
8木 AED(自動体外式除細動器)設置・グループ健康指導(和光)
10土 美術講座(キートス)
12月 職員フィナンランド研修報告会
13火 サービス向上大会本大会/ありがとうの会(錦特養)
15木 高齢者ケア研究会「高齢者の虐待について」(にしき福祉相談センター)
17土 地域高齢者交流会(キートス)
20火 春の彼岸供養祭
22木 スオミセミナー「からだと心の健康について」/感謝の会(和光)
24土 悠遊倶楽部世話人会(キートス家族会)

感謝録

温かい御支援・御協力下さいました方々に厚く御礼申し上げます。(敬称略)
平成19年2月1日～平成19年3月31日

①金員の部

- 下東玲子 佐藤明子 澤田喜美子
菊地建一 深谷勝子 根本俊臣
青木信子 高橋 衛 市瀬喜美
武蔵野作業室ご利用者一同
至誠ホーム後援会会長梅田尚裕
春山順子 あゆみの箱
16件(延173件)

②物品の部

- 川辺 猛 太田とし子 諸井 緑
高松恵子 正盛堂榎本文次郎
永富あや子 松本建装(株)代表取締役松本保夫 公明党立川女性局 相澤京子
南館近子 竹内 滋 アビリティーズ・ケアネット(株)代表取締役会長兼社長伊東弘泰 (株)川原経営総合センター「ふくろう会」事務局 水越栄子
ともしび法話会 片桐章枝
社団法人立川法人会女性部会
佐藤京子 福島暁美
公明党立川総支部女性局 横山公子
協栄ワールド(株) 東京都社会福祉協議会東京善意銀行 池田幸子
25件(延168件)

③ボランティア

- (1)一般ボランティア(錦地区)
【立川市】 エクセルシオ 菊正会

- 錦六茶友会 五月会 さわやかグループ 百合会グループ シルバームイッツ 談話室アイアイ みどりの会 もみじ会 立正佼成会 立川教会婦人部 朗読サークル「こえ」 穴澤 宏 綾部 勇 栗野加奈子 安藤道子 石塚きよ 岩田さち子 岩谷淳子 及川悦子 及川清一 大古春子 大井田フサエ 大倉樹一郎 大倉弘子 大澤康子 大島昭雄 岡 真司 尾菌栄子 加藤 清 加藤衣子 加藤典子 神田京子 木村玲子 久保田友子 黒岩倭文子 桑原花子 小菅房子 酒井恵美子 坂本美智子 櫻井智介 櫻井百合子 山同千賀子 篠村綾子 島津京子 島田いそみ 島田善彦 新藤幸子 鈴木恵子 鈴木幸子 鈴木光子 関口敏江 瀬谷雪子 鷹左右清道 鷹左右元代 高橋浩之 遠山百世 戸田フミ子 寺澤育代 似内フサエ 野口初子 永森初子 野呂芝芳 橋本ライヤ 野村祥子 初沢紀子 林 幸 長谷川英子 古谷文子 細川信也 蛭田妙子 増淵絹子 三橋 稔 細川光子 南館近子 宮内雅子 三守諄子 百瀬千枝 安ヶ平金造 宮下皆子 和田恵美 和田夏子 山内幸子 石井匡代 伊藤信子 今井幸子 岩下昭子 大場春子 小澤洋一 金尾真砂子 小塩菊子 阪口まり子 竹内美幸 直井 節 山中きよ子 永島律子 西垣まき子 沼田幸子 逸見洋子 榊田輝子 目黒美知子 安永哲子 山本雅也 吉崎武子 渡辺洋子 岩城トミ 蔵多美智子 国生友子 小林一子 温品典子 【国分寺市】 国分寺婦人Vグループ 鈴木久美子 諸井 緑

- 【他市】 ともしび法話会
安在里紗 安藤幸世 石田利恵子
岩本賢子 上田千晶 江花紀美子
木下紀子 黒沢喜久恵 小泉理理沙
小室恵里奈 佐藤裕子 菅原晶子
杉山紀子 高石ふみ子 高橋瞭子
田中愛美 中村奈保 橋本絵美
増山大樹 松本祥枝 諸江幸恵
山内 孝 山崎繁子 吉井秩子
渡辺 智 延1025名
【立川市】 おもちゃ図書館 音楽隊
立川ユニークダンス「さわやか」
東京アコーデイオンメイツ 朗読サークル「こえ」 キンキラーズ シネマ16
青山 優 浅見五郎 阿部まさよ
荒井和子 荒金啓子 安斉知之
池田三郎 稲垣明子 岩田綾子
潤井和子 大内田由紀子 大橋こう
大森千代子 大家千枝子 小川経子
織原良江 菅生佳子 川崎芳男
河野美和子 菊地浩子 菊池正勝
岸 みつ江 木村浩通 草場久子
葛野芳子 久保敏子 紅林由美子
黒田真知子 小坂邦子 小嶋アキ子
坂口洋子 澤田夏絵 清水真理子
柴 清次 清水淳子 高塚光二
新林春子 鷺見絵梨香 高橋雪子
高橋明子 高橋 貞 高橋雪子
武井郁治 武井容子 田中秀和
田中清子 田中裕子 地下幸子
中野庸夫 中村克久 中山君子
成田 綴 野澤勝治 服部ちづ子
花見瑛子 平田雅子 浜野好雄
林田満江 藤井美千代 藤田桂子
別府ひろ子 細村ふみ 溝口礼子
宮坂一栄 持丸 治 持丸弘子
山田尚子 吉田二二穂 渡辺道子
和田靖史 井上充恵 大山永子
小野俊雄 勝倉ナホミ 加藤康子

# 福祉学習協力

## (1) 実習研修

### ◎介護福祉士

淑徳短期大学 沼崎彩奈(20日) / 東京福祉保育専門学校 高橋紘音(22日)

### ◎社会福祉士

東海大学 長谷川美帆(12日)

### ◎ユニットケアリーダー研修

藤村絵理・古市文子・黒川友之・新内康之(各2日)・宮路昌徳・向山雄一・田中利枝・金城えりか・伊郷好紀・松田隆弘・塚田和人・真崎克寿・渡辺茂子・矢口紀子・藤川尚美・金寿鈴・七

木村美佐子 鈴木小波 高橋幸恵  
高橋 龍 土岐良江 中水乙重子  
西原恵子 松村八千代 山本佳子  
【他市】 花島演芸 ロゼラニ・  
ウィングス ルナ・ハワイアンズ  
内田喜美子 内田純子 木島 満  
久保田康子 児玉早苗 高野信子  
高橋桂子 近見彰則 千野三枝子  
手塚 明 中村麻美 中山陽子  
野沢由美子 林 幸子 土方和子  
平田克寿 古野 綾 保坂栄子  
延596名

## 一般ボランティア(柏センター)

石井信子 岩田綾子 石橋京子  
岩本賢子 大山紀子 黒田直子  
小林正子 小林好子 齊藤 究  
高橋明子 高橋雪子 中野庸夫  
広木かほる 藤原恵美子 土方和子  
師岡恵美子 鷺沢美美 延89名

## (2) ボランティア体験

立川市立第七小学校 延14名

## (キ) 増山大樹

立川市立第七中学校

東京YMCA福祉専門学校

東大和市立第四中学校 延20名

## 至誠ホーム1名(2日)

### ◎その他の実習研修

JJCA 高田紀子(21日) 延290日

## (2) 体験学習(平成18年11月)

立教大学大学院生4名(各2日) 延8日

## (3) 見学・視察

「文京学院大学」梶原隆之人間学部人間福祉学科専任講師他学生6名 / 社会福祉法人武蔵野療園「渋谷区げやきの苑」1名 / 社会福祉法人柏江福祉会「こまえ苑」5名 / 軽費筑波キングスガーデン5名 / 特別養護老人ホーム愛老園1名 / 国際厚生事業団8名 / 文京学院大学笹岡眞弓教授他1名 / 社会福祉法人のぞみの会「のぞみの杜」5名 / 全国社会福祉協議会国際部13名 / 社会福祉法人ユーカーリ優都会「ユーカーリ優都苑」1名 / 医療法人社団相光会「第三湘南グリーン」2名 / 社会福祉法人一石会「風の樹」2名 / 社会福祉法人土福祉会「北八朔」1名 / 東京福祉専門学校鈴木順子非常勤講師他1名 / 東京家政学院大学古賀成子助教

計56名 累計336名

## (4) 〆〆慰問・〆〆招待

Uke Hoahale(ウケホアヘレ) 宇賀神宏 計1名 累計7名

## 至誠和光ホーム

# 保養ステイご利用のお誘い!

## (介護保険外事業)

「老人ホームってどんな所かしら…」  
「家の改修工事があるんだけど…」  
「1人で淋しい、お友達が欲しい…」  
「1人で炊事が面倒。ちょっと骨休みたいナ…」などなど。

ミニキッチン・トイレ付個室で、和光ホーム入居者と一緒に、生活をしてみませんか?

何かあれば看護師も対応致します。



### ■ 条 件

自分で歩いてエレベーターに乗れる程度の方。介護認定(要介護1程度まで)を受けている方もご相談下さい。

### ■ 費 用

1日6,000円  
(食事、入浴代含。消費税なし)

### ■ 連絡先 至誠和光ホーム

(軽費老人ホーム)

042(527)0034

担当 佐藤・春山

# 園長就任あいさつ

## 至誠ホームスオミ

園長 旭 博之



平成19年度春の人事異動で至誠特別養護老人ホームの園長から、至誠ホームスオミケアハウス・グループホームの園長に就任いたしました。

過日ある方に「春の異動で、担当する施設が変わりました」とおはなししたところ、「施設長さんになってもまだ異動があるんですか？」と真顔で訊かれました。また、人事発表の直後には、ある中堅の職員から「自分が就職してから特養の園長はずっと旭園長でした。これからも当然と思っていました」といわれました。

じつは、ここ何年か施設長クラスの異動は皆無でしたが、もともと至誠ホーム

は園長を含め『はつとする人事』をすることがあるのです。

今回は、橋本正明至誠ホーム長の年間を通しての海外研究と門川統括事務局長の定年退職により、スオミ前園長の岡田副ホーム長が事務局長を兼務する体制をとり、旭がスオミの園長に異動したという次第です。

前任の特別養護老人ホームと比べますと、ケアハウスの皆さんは介護が必要の方々とまったく対照的に心身ともにお達者な利用者の方々ですから心配には及びません。また、グループホームの利用者も現在の環境に馴染んで、落ち着いて生活しておられる様子です。もちろん両部門ともに、状況をよく理解しているスタッフが居りますから、なおさら安心です。スオミの皆さんと一刻も早く馴染みになって、安心で生きがいのある生活作りの実現に少しでも貢献できればと思っています。どうかよろしくお願い申し上げます。

## 至誠特別養護老人ホーム

園長 吉上 恵子



4月1日付で、至誠特別養護老人ホームの園長を拝命いたしました。

至誠特別養護老人ホームは今年で開設30周年を迎えます。開設当時は生まれていなかった世代が、利用者のお世話を一緒にしてくれています。

私も社会福祉系の大学を卒業した年から至誠ホームの職員として歩んで参りました。途中、育児のために退職し、契約職員として出来る範囲での職場復帰をいたしました。平成6年に正職員として再度採用され、その時々々の役職を拝命、現在に至っています。

その間、高齢者福祉を取り巻く環境や伴う制度なども大きく変化して参りました。

た。福祉現場で働く者が国家資格を得られるようになったことは大きな意義があったと思います。また、介護保険制度導入は高齢者福祉の方向性を大きく変化させました。

変わらないのは、法人創設者の教えである「まことの心」の下の「役立つ福祉サービスの提供」という当ホームの理念であると言えます。

私も学生時代のボランティア体験をおして、特別養護老人ホームのケア提供の理念を追求したいと考え将来の進むべき道を決めたのを記憶しています。そこには「その人らしさ」の尊重がありました。

今、風は在宅に向けて吹いています。施設の役割はまだまだ大きいと考えます。介護保険制度下で課題は少なくはないものの、皆様方のご協力で施設ケアを進めて参りたいと存じます。何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。